

## 研究結果報告書

### 日本中部地方の社会的企業の発展と行政支援：事例研究を通して

所属：吉林大学 哲学社会学院 社会学系  
役職：副教授  
氏名：鄭 南

貴財団資金のサポートで、私が 2017 年 11 月 24 日から 12 月 8 日の間に名古屋大学を訪問し、名古屋市にある五つの社会的企業（NPO 法人アスクネット、NPO 法人ポパイ、NPO 法人ドリーム、特別養護施設 think body Japan とわっぱの会）を聞き取り調査を実施し、愛知県県民生活部社会活動推進課にも中部地域のソーシャルビジネス政策についても調査をこなった。12 月 3 日に、東京の渋谷に開催されているソーシャルビジネスの集まり（Social Impact for 2020 and beyond Gathering）にも出席し、多くの社会的企業、NPO の責任者と交流することができた。2018 年 4 月から関西学院大学で社会的企業という講義を教えながら、大阪 NPO センターなどでソーシャル・ビジネスの発展について聞き取り調査を行った。

資料収集と現地調査を通して、日本中部地域の社会的企業の発展について以下のようにまとめることができる。第一、わっぱの会のような労働統合型社会的企業（WISE）がアジアの他の国と比べかなり早い段階で活躍し、社会福祉政策に関して大きなソーシャル・インパクトを発揮してきた。第二、少子高齢化の進みによって、社会的企業が福祉領域に活躍する可能性が大きい。調査を通して、ソーシャル・ビジネスの発展する空間が大きいことがわかった。第三、地域によって、社会的企業の発展に対する地方政府の促進策がかなり差があり、東京と大阪と比べて、名古屋を中心とする中部地域では保守的ともいえ、具体的な促進策が少ない。

研究成果の公表について

口頭発表（題名・発表者名・会議名・日時・場所等）

日本中部地域社会企業の発展とイノベーション・鄭南・中国社会学会中日社会学委員会2018年年会・2018年11月16－18日、浙江大学（杭州）

論文（題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等）

日本劳动整合型社会企业的发展与创新---- 以 Wappa 之会为例（日本労働統合型社会的企業の発展とイノベーションーわっぱの会を例にして）・鄭南、莊家怡・《学习与探索》・2018年7月号予定

書籍（題名・著者名・出版社・発行時期等）